

(仮称) 第3期県立高校将来構想答申中間案骨子 (案)

『 (サブタイトル) 』

*キーワード:「志」,「地域」,「次代を拓く」など

1 高校教育を取り巻く現状と課題

1 本県の高校教育改革の取組

○ 現構想における高校教育改革の取組の方向性

- ・ 主体的に生き抜く力の育成
- ・ 人と関わる力の育成

○ 現構想期間中の主な動き

- ・ 学力の向上 ー学び続けるための基礎力づくりー
- ・ キャリア教育の充実 ー志教育の推進ー
- ・ 地域のニーズに応える高校づくりの推進 ー地域とともに生きる高校づくりー
- ・ 教育環境の充実・学校経営の改善 ー安心して学べる魅力ある教育環境づくりー
- ・ 東日本大震災からの教育の復興に向けた取組

2 高校教育を取り巻く現状

- 東日本大震災からの復興
- 人口減少社会の到来と地方創生の推進
- 家庭環境や地域社会の変化
- 不登校生徒や中途退学者の増加
- ICTの進展
- グローバル化の進展
- 国の教育改革の動向

3 課題

- 教育内容の充実に関すること
- 教育環境の整備に関すること
- 学科編成及び学校配置に関すること

2 新たな県立高校将来構想の策定について

今回新たに策定する県立高校将来構想の趣旨 (今後も続く生徒数減少, グローバル化, 高度情報化の進展等の社会環境の変化の中でのよりよい高校教育環境づくり, 高校教育改革等を推進), 平成31~40年度の県立高校教育改革の方向性を明示

3 本県高校教育の目指す姿

生徒一人一人が、高い「志」を持ち、主体的・対話的で深い学びを通して、自ら未来を切り拓いていくたくましい力を身に付けることができる高校教育を実現する。

1 目指す人づくりの方向性

- 豊かな心、健やかな体と自ら考え行動する力を持ち、自己実現、社会貢献できる人づくり
- ふるさと宮城に誇りを持ち、東日本大震災からの復興と郷土の発展を支える人づくり
- 異文化を受容できる力を備えるとともにグローバルな視点を持ち、多様な人々と協働して新たな価値を創造できる人づくり

2 目指す学校づくりの方向性

- 生徒一人一人を大切に育み、多様な個性や能力を最大限に伸ばす学校づくり
- 生徒一人一人の興味・関心や進路希望に応じるとともに、社会のニーズを踏まえた特色ある学校づくり
- 地域に根ざし、地域から信頼され、地域に貢献できる学校づくり

4 高校教育改革の取組

1 宮城の未来を担う人材の育成

(1) 教育内容の充実

- 主体的・対話的で深い学びの実現
- 志教育・シチズンシップ教育の推進（キャリア教育の更なる推進等）
- 基礎基本の徹底と発展的な学習の推進
- 課題解決能力、コミュニケーション能力の育成
- 情報活用能力の向上、教科指導におけるICT活用の推進
- 国際教育の推進（グローバル化、異文化を受容できる力、伝統文化への理解、国際感覚の醸成、自国や地域の文化を発信する態度等）
- 防災教育・安全教育の推進（「みやぎ学校安全基本方針」に基づく自助、共助、公助等）
- カリキュラム・マネジメントの推進
- 多様な学習評価方法の研究・実践

(2) 教育環境の整備

- 教育相談体制の更なる充実
- 地域・保護者との連携・協力の推進（地域パートナーシップ会議等）
- 学校評議員制度、学校関係者評価の活用推進
- 関係機関との連携・協力の推進（教育相談関係機関、インターンシップ等）
- 国・県などの制度活用（スーパーサイエンスハイスクール、国際バカロレア認定校等）

- 計画的な教職員採用と研修の改善・充実
- 計画的な施設・設備の整備
- 今後の部活動の在り方（部活動指導員や外部指導者の活用、「部活動での指導ガイドライン」の活用等）

2 宮城の未来を拓く学校づくり

（１）少子化の中での高校の在り方

① 適正な学校規模

- 4～8学級を目安とする。
- 地域の実情や学科バランスに配慮した例外的な取扱いの検討

② 学校配置の考え方

- 中学校卒業生数が減少する中でも、学校の活力維持と生徒の興味・関心や多様な進路希望に対応できる教育環境を確保
- 地域における高校の在り方を踏まえた上で、学習環境や課外活動の充実を図ることを目的とするとともに、通学への影響や地域内での学科バランスなど地域の実情に配慮
- 地区別の高校配置の方向性

③ 活力ある学校づくりの取組

- 学校の活力維持のための新たな取組の検討（学級規模、募集方法等）
- 新しい学びの検討（社会的な要請や時代の潮流を踏まえた新しい学科等）

（２）社会的ニーズに応じた高校、学科の在り方

① 学科・コースの在り方

ア. 普通系学科

- 生徒の学習ニーズや進路目標に応じた適切な選択科目の充実
- キャリア教育の推進
- 単位制高校での主体的な学習を促すガイダンス機能や進路希望に応じた選択幅の広い教育課程の充実
- 普通系学科の専門学科・コースにおける各学科の特色を生かした教育内容の充実

イ. 総合学科

- 多様な系列や適切な選択科目の設置
- ガイダンス機能の充実
- 職業体験的な活動の一層の充実

ウ. 専門学科

- 地域の資源を活用した6次産業化の取組の推進
- 進路希望の多様化に応じた学習の選択幅の拡大、多様な進路希望への対応
- 産業界の要望に応じた教育課程の充実
- 地域産業との連携の充実（インターンシップ等）
- 特色ある学科の設置検討

② 他機関との連携

ア. 地域の教育機関との連携の在り方

- 中高の教員の指導力向上に結び付く連携の在り方の検討（個々の生徒の進路選択，地域全体の学力の向上，生徒指導・特別支援教育の視点等）
- 私立高校やその他の教育機関との連携・協力の推進

イ. 大学との連携の在り方

- 大学・研究機関等との連携・接続の推進（課題研究での連携・共同研究の推進等）
- 大学講義聴講・出前授業の実施

ウ. 地域や企業等との連携の在り方

- 地域・保護者との連携・協力の推進（体験的な活動，外部指導者，地域教育資源の活用等）
- 地域でのボランティア活動，インターンシップ等学校外における体験的な活動の単位認定等学校外の学習機会の活用
- 地域パートナーシップ会議の設置

(3) 学びの多様化への対応

① 定時制課程・通信制課程の在り方

ア. 定時制課程の在り方

- 多様な学びに対応するための体制の整備
- 相談体制の充実
- 全県的なバランスを考慮した配置
- 地域の生涯学習の場としての活用
- 夜間中学校や地域の関係機関との連携の推進

イ. 通信制課程の在り方

- スクーリング拠点の増設や協力校の設置等による学習環境の整備
- 定時制高校等との連携の推進
- 教育内容，生活指導，就労支援等の充実

ウ. 学び直しへの対応

- 多様な学びのニーズに応える学校づくり
- 基礎からの学びの充実
- 多様な学びに対応するための体制の整備
- 学習意欲の喚起や人間性の涵養
- 学校医やスクールカウンセラーなどとの連携の推進
- 地域の関係機関との連携の推進

② 特別な支援を必要とする生徒への対応

ア. 基本的な方向性

イ. 通級指導の充実

- 通級指導教室の開設
- 広域型の通級制度の検討
- 教職員の専門性の向上
- 特別支援教育の取組の理解の推進
- 高校と中学校の連携の推進
- 特別支援学校のセンター的機能の拡充

ウ. インクルーシブ教育システムの充実

- 特別支援学校との交流・連携の推進
- 地域の関係機関との連携の推進
- 施設・設備の拡充及び専門性のある教員・支援員等の配置

5 将来構想の推進

1 地域社会との協働

地域とともにある学校づくりや地域ぐるみの取組に関する支援の一層の推進について明示

2 実施計画の策定

将来構想の推進に向けた適正な進行管理のための実施計画について明示